

私の将来の夢

筑波大学附属小学校 三年 五十嵐 陽士

私の将来の夢は、ロボット開発者になる事です。理由は、人々の未来の暮らしを、ロボットでえがおにしたいからです。ロボット開発者になろうと思ったきっかけは、私のそうそふが、一人ぐらしをしているのですが、年よりなので、家事などの家のさぎようはできるのか、一人で家にいる時に、たおれたりしないか、心ばいでした。だから、そうそふのせわができる、ロボットを作りたいです。もう一つきっかけがあります。この前、学校のかえり道に、バスに、車いすの人がのつてこようとしていました。バスに、車いすの人がのる時、うんてんしゅさんがおりて、車いすの人をスロープで上に上げてから、うんてんせきにもどつて、うんてんをしばはじめます。この時、車いすを上上げるさぎようの時間がながびくと、バスの時こくがおくれてしまうのです。そこで、バスのうんてんしゅさんと、ロボットがいつしよにのれば、バスの

時こくがおくれないうちかもしれません。そして私がやるべき事は、AIや電気、きかいなどのちしきを本や新聞でしらべる事です。ロボット開発者になるには、本物のロボットを見にいったり、自分で、ロボットを作つてみたり色々なちしきをつんで、ロボット開発者になりたいのです。具体的なライフプランをかいてみて分かつた事があります。それは、人生には、お金がひつようという事です。お金はコツコツがいいと思ひました。そのために、物を大事にしうと思ひます。私は、将来のために、時間、お金、計画をたてて、夢にむかつてゆつくり一歩ずつすすんでいきたいです。社会にやくだつ自分になるために、そして未来のちきゆうが、べんりでえがおになるために。

五十嵐 陽士 のライフプラン

将来なにになりたいか？ **ロボット開発者**
その理由：人間の未来の暮らしを、ロボットでえがおにしたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2023年	9才(小3)	AIや電気、きかいなど、ロボットにかんけいする事を、本などを通して学ぶ。	本代 新聞代
2024年	10(4)	社会問題について、えいごを本や新聞でしらべる。	えいご代
2025年	11(5)	博物館や展示会で最新のロボットをみる。	入場料
2026年	12(6)	プログラミングをみせて、自分でロボットをつくる。	プログラミング代 ロボット代
2027年	13(中1)	世界のコンペティションに参加する。	
2028年	14(2)	世界大会の上位者と交流をする。	えいご代
2029年	15(3)	社会問題を解決するためロボットを考えて作る。	ロボット代 プログラミング代
2030年	16(高1)		
2031年	17(2)	自分が作ったロボットを、先生にみせてアドバイスをもらう。	
2032年	18(3)	大学で学ぶために、受験勉強をする。	代
2033年	19(大1)	大学のロボット工学部に入学する。	大学授業料
2034年	20(2)	情報処理技術者試験やCAD利用技術者試験を受ける。	教材代
2035年	21(3)	メーカーのインターンで、ロボット制作を学ぶ。	代
2036年	22(4)	就職活動をして、ロボット制作メーカーに就職する。	
2037年	23	働いたおちに海外の大学で世界のロボット制作を学ぶ。	留学代
2038年	24	海外の大学院で学ぶ。	
2046年	30	会社を起業する。自分のオリジナルのロボットを世の中に出す。	起業資金代